

泗水エリア



1 宣頓寺及び古塔碑群と大椋



合志氏の菩提寺である宣頓寺跡の御堂には、木造地蔵菩薩坐像と室町時代作といわれる韋馱天像2体が納められている。境内には逆修碑や供養塔があり、市指定天然記念物「宣頓寺の大椋」が巨大な枝振りで宣頓寺跡を包み込んでいる。

市指定
地図 D-1

2 くすべ地蔵



地蔵様を口ウソクの火でくすべる（いぶす）という、全国的にも大変珍しい風習が伝承されている。頭がよくなりたい人は頭を、足が痛い人は足を、というふうに、口ウソクの火に願いを込めてお地蔵様をいぶすと、願い事が叶うと云われている。毎年12月14日は地蔵様祭りが行われている。

有形文化遺産
地図 C-1

3 寒提寺



神社のある地は、合志氏庶流の菩提寺として開山された寒提寺跡といわれ、「かんじやち」という地名が残っている。神社は、阿蘇乙ノ宮として勧請されているが由緒は不詳。社殿内には神像のほか、石製の獅子額と阿弥陀仏頭が安置されている。

有形文化遺産
地図 C-2

4 高架水槽



鉄筋コンクリート造、三層構成のラーメン構造。全高13.56m。給水塔の最上部水槽には、1945年5月13日、菊池飛行場の空襲時の機銃弾の跡が抉られた状態で約30箇所確認された。

有形文化遺産
地図 C-1

5 慰靈塔



終戦後、富の原に入植した開拓者達において、少年飛行兵ら38名の靈を慰めるべく、昭和26年、慰靈塔を建立。昭和32年からは、小飛会・戦友会等と区民をあげて合同慰靈祭が行われている。昭和62年に、現在の自然石に建て替えられた。

有形文化遺産
地図 C-1



泗水散策マップ(21Pへ)

所在地：菊池市泗水町吉富

6 風呂場・給湯施設



花房台地にある菊池（花房）飛行場跡地には、駐屯していた菊池通信教育隊の遺産があり、戦時中に少年飛行兵が使用していた風呂場、給湯施設が残っている。

有形文化遺産
地図 C-1

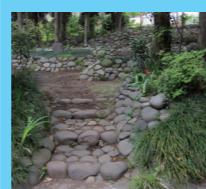
7 若宮神社



寿永二年安徳天皇遣唐使であった、陸奥守師重が阿蘇神社宮籠りの折、阿蘇大明神のお告げによって九の宮若彦明神を富に勧請された。お告げによって祀られたと思われるご神体をはじめて祀られたご神体が祀られている。

有形文化遺産
地図 B-2

8 石鎚



久米八幡宮の境内には、石鎚という呼び名の総延長約40mの石群がある。用途や目的は不明な点が多いため、西南戦争の陣地跡とも屋敷の石墨とも言わされる説もあるが、昔からイノシシやシカよけの柵と伝えられている。

有形文化遺産
地図 B-1

9 鼻突地蔵



久米集落の西の外れの三差路にあり、自然石の中央をくり抜いて、仏像を彫った中世の石板がはめ込んである。目を閉じて、遠くから歩いて像の鼻の部分に指先が当たると、良縁に恵まれるとの伝承からこのように呼ばれている。

有形文化遺産
地図 B-1

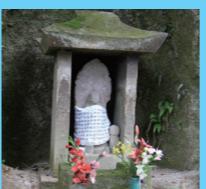
10 平野区皇大神宮



泗水平野区の先祖がお伊勢参りをしたときに、伊勢神宮の神社を受けて持ち帰り、お堂を建立したとされているため、通称平野伊勢神宮と呼ばれている。この加護によって、地区には火災が起らないと言われている。

有形文化遺産
地図 A-2

11 他力放牛石仏



鍛冶職人の父七左衛門の死後、息子は仏門に入り、放牛と改めて父の菩提を弔うため107体の石仏を建立した。この石仏は50体目で、享保13年9月に、現在地に建立されたものである。

有形文化遺産
地図 A-2

12 妙蓮寺観音堂



泗水平野区にある妙蓮寺は、合志33箇所の31番札所。平安時代に開山され、江戸時代初期に日円和尚により再興し、その後隈府町に移転したと伝えられている。聖観音立像が本尊で、韋馱天像、毘沙門天像も祀られている。

有形文化遺産
地図 A-2

13 光徳寺



光徳寺のある南田島は、近代日本における最大規模の内戦である西南戦争の激戦地であった。光徳寺は、官軍主計会官の宿営になった。光徳寺の天井には、撃ち込まれた砲弾の補修跡や不発弾が残っている。

有形文化遺産
地図 A-1

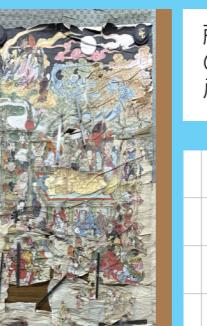
14 天徳寺跡地蔵堂(仏像)



「肥後国誌」によれば文永の役（1274年）の時に北条時宗定が下向し此處の長大森某と諂つて再興したと伝えられている。創建は不明だが寺号の天徳年間であれば平安時代である。

有形文化遺産
地図 A-1

15 天徳寺跡地蔵堂(涅槃図及び地獄図)



所蔵の涅槃図及び地獄図は、天保年の作と思われ、町史でも貴重な文化遺産として残されている。

有形文化遺産
地図 A-1

隈府周辺

3

菊池北

7

河原周辺

9

戸崎・花房・菊之池

11

七城周辺

15

旭志

17

泗水

19